

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	R-CHOP 療法で治療された限局期びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の臨床病理学的検討 YACHT ML1601-01 付随研究
	研究目的	この研究は、2003 年～2009 年に当院を含む参加施設で限局期（臨床病期 I および II 期）のびまん性大細胞型細胞性リンパ腫と診断され、リツキシマブ併用-CHOP 療法 6-8 サイクルの治療を受けた患者さんのうち、診断時の生検組織の未染色標本作が収集可能な患者さんを対象にしています。調査内容は、リンパ腫の病理学的特徴やリンパ腫に関する症状、検査結果、治療の内容、治療の効果等です。各病院から集められた病理標本には、患者さんの氏名、生年月日などではなく、各病院で発行されたコード番号のみを使用します。 患者さんプライバシーの保護について細心の注意が払われます。ご自分のデータや病理組織をこの研究に使用してほしくないとお考えの患者さんもしくは代理人の方（患者さんご本人が連絡できない場合）は、担当医を通じてご連絡いただければ、本研究へのデータ利用を停止いたします。
	研究期間	西 暦 2 0 1 7 年 1 月 5 日 ～ 西 暦 2 0 2 4 年 3 月 3 1 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	研究責任者	神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 高橋寛行
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	腫瘍内科、病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 田中正嗣 横浜市大市民総合医療センター病院 血液内科 藤澤信 藤沢市民病院 血液内科 藤巻克通 横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学 松本憲治 東海大学医学部基盤診療学系病理診断学 中村直哉